

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|---------------|
| 事業所番号 | 2392500084 |
| 事業所名 | 春日井グループホームそよ風 |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-----------|---|----|
| 重点項目 ① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） | 評価 |
| | 感染症問題が続いていることで、地域の方との交流が困難になっているが、ホームは地域の町内会に入り、地域で行われている清掃活動や廃品回収等の活動に参加する等、現状で可能な範囲で交流を継続している。 | ○ |
| 重点項目 ② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） | 評価 |
| | 会議については、書面による実施となっているが、例年、会議を開催する際には、多くの家族の参加が得られており、定期的な家族との交流の機会にもつながっている。また、同様に会議の際には、ボランティアで知見を有する方も参加しており、情報交換が行われている。 | ○ |
| 重点項目 ③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） | 評価 |
| | 現状、研修会や連絡会等への参加については控えている状況であるが、市担当部署とは様々な場面で連携を行う等、ホームの運営への反映につなげている。また、地域包括支援センターとの情報交換等も行われている。 | ○ |
| 重点項目 ④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） | 評価 |
| | 現状、家族との交流が困難な状況が続いているが、例年は、行事等を通じた交流が行われており、毎回多くの家族の参加が得られている。家族からの要望等には、運営法人で対応することの明示が行われている。また、毎月のホーム便りの作成が行われている。 | ○ |
| 重点項目 ⑤ | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | ○ |
| | ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | ○ |
| | ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | ○ |
| 総合評価 | | ○ |

備考欄】

運営推進会議については、令和3年4月、6月、8月、10月、12月、令和4年2月は、書面にて実施している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確 認 事 項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取り組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】